

「第4回」ブランディングボード実施報告書

2024年10月

[ブランディングボードの開催目的]

令和5年度末に決定した阿久根市の向かうべきブランドの方向性である「あなたの人生を抱きしめるまち」を実現するために、どんな施策が必要かを議論するのが【ブランディングボード（会議）】です。職員の有志が集まり、計5回の会議に加え、最終回に市長へのプレゼンテーションを行い、市内・市外の多くの方が“阿久根市のことを大好きになってもらう”ための具体的な施策を練り上げます。



第一回：オリエンテーション・課題抽出 ←6/20.21 実施済み

第二回：課題に対してあるべき理想像抽出 ←7/16.17 実施済み

第三回：課題と理想像の間にあるギャップを埋める具体的な方法について協議 ←8/22.23 実施済み

第四回：具体的な方法論について現実的な方法を見出し、実現可能な手法を導く ←9/24.25 実施

第五回：実現までのロードマップ（工程表）作成と予算策定

第六回：市長へのプレゼンテーション：2024年12月11日（水）@風テラスあくね

※必要なプロ人材（専門家）の招聘や、現場の視察（フィールドリサーチ）も適宜行う。

レポート①

「観光」ボード

第 四 回

市長プレゼンに向けて議論した施策を記載
◎◎の施策がプレゼン予定の施策
6施策想定

第四回：具体的な方法論について現実的な方法を見出し、実現可能な手法を導く

9:交通の利便性アップ施策＝カーシェアリング

- └レンタカー・カーリース 50,000円/月
- 市が借りて平日は公用車、土日はレンタカーとして活用
- 市民は会員登録し借りる（例：山形市はアプリ活用）

参考)

<https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/kurashi/kotsu/1011850/1011851.html>

<https://www.pref.kyoto.jp/kikakuriji/news/carshare.html>

<https://miraicolabo.willsmart.co.jp/article/5327>

2:賑わいコンテンツ不足の改善・解消施策

- └現在の観光サイトにアクティビティが掲載されていない。
- └既にある観光アクティビティ等をデジタルマッピングし、市の観光サイトに掲載（商工観光課が担当）※UI/UX改善も含め

参考) 現代アートと島観光を融合したアクティビティを紹介

<https://naoshima.net/>

6:飲食店向け接遇研修会実施、料理研修会も実施してレベルアップ

- └HP作成を市の補助金で支援

※店舗数と自社HPの所有実態調査が必要

参考)

<https://www.jtbcorp.jp/jp/newsroom/2021/10/jtb-20216.html>

<https://finest-all-season.co.jp/minowamachiyakuba/>

<https://www.jtbbwt.com/government/trend/detail/id=2522>

7:宿泊施設の告知施策

- └OTAサイト（オンライン旅行代理店）の手数料が課題と感じる事業者がいる

→運営会社に事業者向け説明会を実施してもらう

→観光アクティビティも掲載し、クーポンを設定（例：行政からの補助（愛知県では30万円補助））

参考) <https://find-model.jp/insta-lab/influencer-marketing-case-study-hotel/>

移住・定住ボードで検討

1:リノベーション

- └鹿屋市でパン屋を実施している
- └名山町でも昭和の街並を残してリノベしたshopが揃っている（阿久根だと本町通、大丸、薩摩街道、駅前辺りが候補）

9:交通の利便性

- └既にある公用車を土日にカーシェアリングする。

8:風テラスの敷地内の土地にコンテナショップをまずは1店OPEN!

（定期借地権付物件） 運営は複数事業者が組合を作って行う！

5:遊客事業（例：大島ウォーキングイベント）

- └実施後は結果も公開する！

●空き店バンク

- └伊佐市が実施しており、不動産会社と連携している

8：廃校を活用した宿泊所増加施策（例：旧大川中）

└観光客をターゲットに施設のリノベーションを実施

参考)

<https://ueda-village.com/>

<https://note.com/machimuranote/n/nbcc200c8221f>

10：情報発信力アップ施策

└SNS発信セミナーを事業者向けに実施

└専門家との繋がりをつくってスキルを上げる

②と⑥と合わせて検討

レポート②

「子ども子育て」ボード

第 四 回

市長プレゼンに向けて議論した施策を記載
◎◎の施策がプレゼン予定の施策
4施策想定

第四回：具体的な方法論について現実的な方法を見出し、実現可能な手法を導く

14、19 スポーツを通して阿久根を盛り上げる施策

↳スケートボードのまち“AKUNE”としてPR→番所丘公園に練習場整備済み（道具の貸出も行う）

（例：大阪府松原市「スケボーのまち まつばら」としてまちづくり戦略）

参考)

<https://hlina.jp/skygarden/>

chrome-extension://efaidnbmnnnibpcajpcglclefindmkaj/https://www.city.matsubara.lg.jp/fs/1/9/0/1/9/4/_/r5seyiryaku.pdf

<chrome-extension://efaidnbmnnnibpcajpcglclefindmkaj/https://www.oct.ac.jp/views/uploads/2024/02/b12fc2a504418af13e41b25c759dbb56.pdf>

家事、育児ヘルパー、子供一時預かり、妊娠中タクシー補助施策

↳子育てお母さん抱きしめるパンフレット（仮）

（例：千葉県松戸市）

<https://www.city.matsudo.chiba.jp/kosodate/matsudodekosodate/kosodatenavi/ninshinshitara/matudoriherupa.html>



12 小学生の社会見学カリキュラムにシニアと触れ合うカリキュラムを追加する！

↳老人ホーム、シニアサロン→子供達が高齢者の疑似体験を行い、加齢による身体的変化を実感し、自分たちができることを考える

→ポッチャのまち“AKUNE”としてPR

参考) <https://www.dearest-partners.jp/archives/506>

総合体育館前の広場にバスケット場を作る。無料でいつでも使えるように！（常時空いている時は使用可能！）

↳瀬之浦農村公園

参考) <https://camp-fire.jp/projects/728938/view>

第四回：具体的な方法論について現実的な方法を見出し、実現可能な手法を導く

19 雨天の際の子供の遊ぶ場所

- └総合体育館の屋内運動場を開放する。トランポリン、ボールプールを新たに用意
- └この施設の空き状況、予約支払いは子育てアプリで出来る

14 生まれた時から地域で部活を！

- └未就学児、小中高大人社会人 1つのスポーツを年代別で深めるスポーツ活動
- 例) ボッチャのまち“AKUNE” 小中学生にも普及を！
※生涯学習課で実施中！

△地域の伝統文化、行事と地域で守る

△マッチングアプリで出会いを促進

- └婚姻率を上げる
- 土日の過ごし方 親子で集まってスポーツする施設

レポート③

「産業振興（海・山）」ボード

第 四 回

市長プレゼンに向けて議論した施策を記載
◎◎の施策がプレゼン予定の施策
5施策想定

第四回：具体的な方法論について現実的な方法を見出し、実現可能な手法を導く

3：マーケティング情報発信専門部署の設立（総務課秘書広報係と拡大・専門化）

- └会計年度職員、正規職員、地域活性化起業人、地域おこし協力隊etcで編成
- └撮影、編集etc機材購入

5：ジビエ肉のブランド化（ジビエ肉祭りの実現）

- └鳥獣害被害抑制にもなり、ハンター育成。事業化にも繋がる（副業にもなる！）
- └まずは市民に親しんでもらう。
- └ジビエ肉祭り（飲食店組合に協力要請、協力店募集、レシピ研究開発、猪→冬、鹿→夏）

11：儲かる農業の仕組み化/跡継ぎ問題解消

- └多品種少量生産を個人農家から→同じ圃場で多品種をつくる相乗効果
- └農政林務課に営農アドバイザーが居る
- └新しい品種開発
- └販売先開発、スマート農業化→モデル農家選定→農業コンサルを市で雇用

4：チャレンジショップ、コミュニティカフェ設置

- └新たな産業を起こす、新規起業の孵化装置
- ※市で新設するマーケティング部署が担当（特に女性が輝く職場をつくる）

例）他自治体チャレンジショップ補助金

https://www.city.matsue.lg.jp/soshikikarasagasu/sangyokeizaibu_shokokikakuka/sangyoshinko/1/4380.html

第四回：具体的な方法論について現実的な方法を見出し、実現可能な手法を導く

19：新規事業参入のハードル軽減

└企業誘致のための補助金を拡充：現在最大3,000万円（土地建物2,500万円、雇用500万円）

参考)

https://www.publicweek.jp/ja-jp/blog/article_21.html

<https://go-mirai.jp/attracting/>

https://www.irischitose.co.jp/blog/column/head_office_relocation/

水産振興について

└阿久根の魚のブランド化→たからのまちマネージャー上田さん案件

レポート④

「住民サービス（DX）」ボード

第 四 回

市長プレゼンに向けて議論した施策を記載
◎◎の施策がプレゼン予定の施策
8施策想定

第四回：具体的な方法論について現実的な方法を見出し、実現可能な手法を導く

3：買い物代行サービスの実施・開始

- └民間移動卸売時御者に委託
- └群馬県高崎市：買物SOSサービス 65才以上の高齢世帯向け（週2回まで）→スーパーと連絡・注文（配送費市が負担）
- └徳島県美馬市：H27から実施していたが、民間の移動販売事業者が実施するようになった。

3：買い物代行サービスの実施・開始

- └高齢者サービス（掃除・洗濯など）の一環で買い物も実施！※市で支援
- └タクシー会社の買物代行（買物はタクシー運転手）→青森県八戸市：ポストタクシー ※市で支援
- └買物代行業

4：QRコード決済の増加

- └どのくらい需要があるか要調査

参考) <https://sogyotech.jp/cashless-subsidy/>

2：住民の手続きの手間の解消施策

- └出水市：戸籍申請、身分証明書の取得は市役所に行かずにできる（電子申請）※手数料・郵送料はクレジット決済
- └阿久根市でもやるべき！（システムは装備済み）→決済システム導入はR8以降？

4：施設予約・決済・電子キーまでスマホで完結（豊前市で導入）

※阿久根市でも実施予定

11：ゴミ出しの簡素化

- └自動分別して、溜まると信号が通知される（海外事例）
- └決済までする（アメリカ）→導入実験を実施する
- └言葉が分からない外国人や障がい者、認知症対策

第四回：具体的な方法論について現実的な方法を見出し、実現可能な手法を導く

4：電子決裁の利用率を各課で競争→評価に直結360度評価

- └意識付けさえできればシステムは備わっている。
- └鹿児島市では積極的に実施

窓口サービス

- └AIロボット マイナンバーカードまたは運転免許証でもOK→自動申請書作成機能

7：高齢者の移動支援

- └自動運転・・・基幹道路でPoC
- └ライドシェア（白タク）の仕組み

参考)

chrome-extension://efaidnbnmnibpcajpcglclefindmkaj/https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/655418_5685192_misc.pdf
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000020.000108557.html>

5：デジタルデバイト対策

医療問題

レポート⑤

「移住・定住」ボード

第 四 回

市長プレゼンに向けて議論した施策を記載
◎◎の施策がプレゼン予定の施策
5施策想定

第四回：具体的な方法論について現実的な方法を見出し、実現可能な手法を導く

4：市内で一体となったまちづくり意識の醸成

- └市内で横断的組織「まちづくりプロジェクトチーム」をつくる（例：霧島市）
- └市内をいくつかの開発エリアに分けて→重点エリアを決めてリノベーションを中心にまちづくり（たからのまちマネージャー遠矢さん協力）
→本町・大丸・薩摩街道（駅前）
- └空き店舗バンク

参考) <https://www.city-kirishima.jp/shoukoushinkou/machizukuri/shokogyo/renovation.html>

5：移住者受入体制づくり（雇用・住む場所）・・・商工観光課が候補・専門部署を！

- └係レベルでつくる。仕事に関する情報もここで集約！
- └移住コーディネーターを雇う。PR・情報発信センターで集約！

参考)

<https://machiage.microad.jp/blog/36-migration#a-3>

https://note.com/smn_corporation/n/n1d05c7c02381

5：お試し移住住宅施策の実施（以下を3つセットで考える）

- └空き家をリノベーション→一旦住宅にしてからお試し移住住宅へ
- └教職員住宅が空いている
※リノベーション費用に補助金1/2（同）
- └民間の住宅を市が借りてお試し移住住宅へ

参考) <https://www.muji.com/jp/space-design/works/034/>

7：ガソリンスタンドでもレンタカー貸出（登録免許に9万円←補助が必要？）

- └事業再構築補助金
- └移住促進レンタカー補助（肝付町で実績あり）→補助金1/2（上限5万円）

参考) <https://kimotsuki-town.jp/soshiki/kikakuchoseika/1/ijyuukouryu/5611.html>

第四回：具体的な方法論について現実的な方法を見出し、実現可能な手法を導く

1:土地・住居の情報提供

→そもそも住める場所があるのか/住居場所を提供したい！（所有者）/住む場所を潤沢に用意したい！（市役所）

↳専門部署が必要！情報発信も専門部署を！→空き家・空き土地・空き店舗

空き家解体補助：都市建設課

空き家バンク：企画推進課



「空き家」というキーワードでも担当課が分かれる！問い合わせ者がとまどう

情報発信専門部署設置（PR広告）

↳観光PR

↳移住促進

↳子育て情報

11:子育て教育体制

↳大自然を活かした未就学向け魅力的教育プログラム（このプログラムがあることで移住意向が高まるか調査！）

↳大自然アクティビティ（現在実施中のものを含めて）

→アクティビティのお試しセットをふるさと納税返礼品として商品化！

例）東京農大 山村再生プロジェクト

https://www.nodai.ac.jp/academics/int/economics/sanson_pj/

麻布大学

https://www.azabu-u.ac.jp/topics/2022/0623_39117.html

第五回ボードについて

今回は、第四回で上げて頂いた「課題を実現するための手法について」
（第四回討議内容の◎○をつけた施策）についてボードごとに一つの企画書にまとめ、
プレゼンテーションへの準備を進めていきます。

お渡しした企画書フォーマットを参考に、皆さんで決めた「課題を実現するための手法」を
市長にプレゼンテーションできる資料にまとめてみてください。

※記載していただきたい項目：各ボードテーマの現状と課題、課題を実現するための施策、想定される効果、実現のための
予算（国の補助金調査）、期間、実現を可能とするベンダー（外部協力会社）、他の自治体事例、裏付けデータ、そ
して皆様の阿久根市を良くしていくんだという想い。